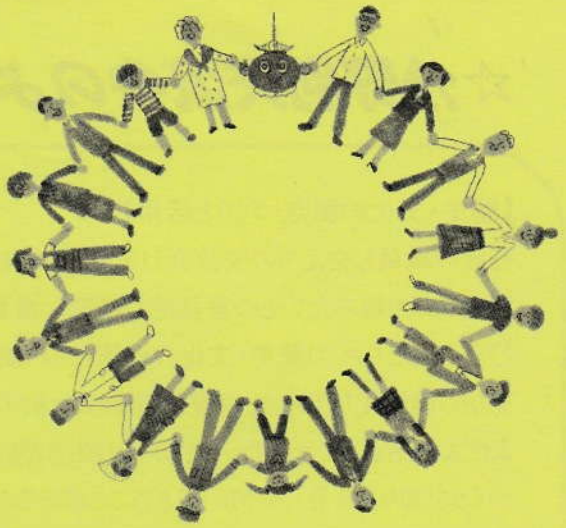
斑鳩町協働の
═まちづくり

ニュースレター　NO.6

平成27年12月



活動提案制度 説明会+分野別交流会 大盛況でした！

平成27年11月25日、生き生きプラザ斑鳩で、「協働のまちづくり活動提案事業　説明会＋分野別交流会」を開催しました。 100人近くの住民・職員・そして町議会議員もご参加くださいました。

住民と行政がともに築く、みんなが主役の協働のまちづくり。大きく前進していくのを予感させる活気あふれる会となりました。前向きなご意見を提案くださったみなさん、ありがとうございました！

各分野の交流会の内容は裏面をご覧ください。 今後、引き続き各分野の続交流会もすることにもなりました。協働のまちづくりホームページで随時、開催日時・場所や話し合った内容などをお知らせしていきます。

行政との協働で取組む住民活動の提案を募集しています！

応募期間：平成２７年１２月１日（火）～平成２８年１月２２日（金）

これまで取り組まれてこなかったけれど住民が力を発揮するからこそできる、今の時代に求められる活動はたくさんあります。この活動提案制度は、新しい活動をつくりだそうとチャレンジする住民活動団体や、新しい団体・グループの立ち上げを支援し、自立した継続的な活動につなげることをねらいとしています。行政は活動に必要な実費を補助するほか提案の内容に応じて、協働事業としての支援を行います。

応募の方法、応募から活動の実施・完了までの流れ、応募に必要な書類と応募方法など詳細は、役場総務課や情報コーナーに設置の応募要項をご覧ください。（ホームページからダウンロードできます。）

活動のアイデアをお持ちの方や仲間をお探しの方は、ぜひ、情報コーナーまでご連絡ください。

●協働のまちづくり情報コーナーを開設中！　（生き生きプラザ斑鳩の総合受付カウンター横）

毎週木曜日の午後1時～3時はコアメンバーが応対させていただいています。

●協働のまちづくりコアメンバー定例会

毎月第２木曜日　午後１時～３時　生き生きプラザ斑鳩２階会議室

協働のまちづくりのしくみづくりに興味・関心のあるかたの参加をお待ちしています。

発　行　斑鳩町協働のまちづくりコアメンバー【協働のまちづくりのしくみづくりを考える住民有志の会】

Email　ikarugakyodo@yahoo.co.jp　ホームページアドレス：http://ikaruga-kyodo.jimdo.com/

事務局　斑鳩町総務課協働のまちづくり推進係内

〒636-0198 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西3丁目7番 12 号

TEL 0745-74-1001（代） FAX 0745-74-1011

☆分野別交流会のようす

【歴史・文化の拠点づくりと活用】

行政の職員も交えての交流会(15 名参加)は、現在、文化的な活動をしていることについてお話くださり、さらに新しい活動に取り組みたいとの意欲的で活発な意見交換の場となり、その中から4つの柱が立ち上がりました。

○子どもたちへの歴史・文化の継承に取り組む。○斑鳩町にお住いの外国人のリサーチ、海外に斑鳩の歴史文化を発信し国際化していく。○登録有形文化財の保存と活用方法について。○斑鳩風土記などを発展させていく。

まだまだ話をしたかった。これからの生きがいが見つかった。ライフワークとして取り組みたい。今回初めて協働のまちづくりを知り、自分にも何かできることがあるのではと思えたなど、会終了後の皆さんの高揚したお顔、次につながっていく！今まではそれぞれで活動していた人達がつながりあえる！と確信しました。世界遺産のある町でありながら歴史文化分野の発展に遅れを痛烈に感じています。歴史・文化に興味、関心のあるお仲間をもっと増やしていきたいと思います。(コアメンバー担当:吉田)

【環境・景観まちづくり】

住民・役場職員など 20 名の皆さんにご参加いただき、このような斑鳩町でありたい、こんなまちにしたい、こんなことに取り組んでいるなど、今まで思い続けていた熱い思いや取り組んできた活動を語っていただきました。

参加者された皆さんは、うなずきながら聞きいっていました。

中でも、ホタルが飛ぶ斑鳩町にしたい、安全な住環境にするためパトロールなどに取り組んでいる、竜田川の自然を再発見するためバードウォッチングを企画したい、住環境を良くするための対策を考えたい、世界遺産のあるまちをきれいにするため清掃活動をしている、花のあるまちにしたい、ごみの資源化を推進したい・・・・・。

続交流会も開催して一つひとつ活動提案制度を活用して実現していきたいと思います。皆さんのご参加をお待ちしています。(コアメンバー担当:斎藤)

【健康と健康を支える人づくり】

40名以上のたくさんの方々の参加があり、2つのテーブルを囲んで、今取り組んでおられる活動も含めて、さまざまな意見の飛び交う場となりました。

活動提案として、「子どもと子育て支援」、「障害者と共に生きる」、「高齢者へのサポート」と、3本の柱が立ち上がろうとしています。これからは、この 3 つの柱で、具体的に活動を進めていくために、仲間を募っていく予定です。皆さん、是非手を挙げてください。

この日の反省点は、人数が多すぎて、細かくみなさんのお話を聞けなかったことです。今後は福祉と健康を分けることを考えたいと思っています。(コアメンバー担当:内城)

【農・食を通じた交流のまち】

10 名にご参加いただき、皆さんからは耕作放棄地を活用した菜種油など斑鳩の特産品の活性化や、高齢化対策にもなる住民参加型の青空市場、安心安全な食の推進、EMの活用、斑鳩の食材や伝統食を取り入れたレストランやお弁当づくりなど、斑鳩の農と食への熱い思いや期待をお聞きすることができました。

これらを実現していくには、数々のハードルを越えていかなければならないと思いますが、「農と食の分野は、私たちが持続可能な社会を築くために必要な“生物多様性”を守れる分野」でもあります。

住民と行政が支え合い、町民のみなさんに喜んでいただける活動を、皆さんと一緒に笑顔で楽しく取り組んで行きたいと思っています。皆様の応援をよろしくお願いいたします。(コアメンバー担当:武田)